



香南市の 防災・減災対策の現状と課題

～ 南海トラフ地震から誰一人取り残さない地域を目指して ～

高知県 香南市 防災対策課 久保 雅裕



自己紹介

- ◆ 香南市消防本部採用 消防吏員拝命
- ◆ 高知県消防防災航空隊派遣 航空救助員(3年間)
- ◆ 総務省消防庁消防大学校 救助科 修了
- ◆ 東日本大震災 緊急消防援助隊 高知県隊 派遣 (岩手県大船渡市)
- ◆ 災害ボランティア組織 【R e s c u e r 龍馬会】 設立
- ◆ 広島土砂災害 災害ボランティア活動
- ◆ 熊本地震 災害ボランティア活動
- ◆ 人と防災未来センター Disaster Manager Gold
- ◆ 消防防災科学センター 災害図上訓練指導員



香南市の概況



香南市は、高知市の東部約20～30kmに位置し、面積は126.48km²（東西約20km、南北約15km）を有しています。

市の**南部地域は太平洋に面する自然豊かな景観の海岸部**と肥よくな平野部が東西に広がり、中部地域は低山が連なる中に里山環境が広がっています。

また、**北部地域は標高300～600mの四国山地**の一部を構成しており、これらの**山々を源流とする物部川、香宗川**など、水と緑が豊かな地域です。

気候は、南海型の気候区分に属し、温暖な気候に加え、年間降水量は、県内でも少ない地域となっています。

南海トラフ地震発生時に起きる状況



南海トラフ地震発生時に起きる状況

香南市 は、震度6～7 の強い揺れが 約3分間 続き、

沿岸部では、10分後に30cm の津波が到達。

最大津波高は15m となる。

さらに地震・津波の発生直後はすべての ライフラインが停止 し、

多くの市民が、避難所での生活 を余儀なくされる。



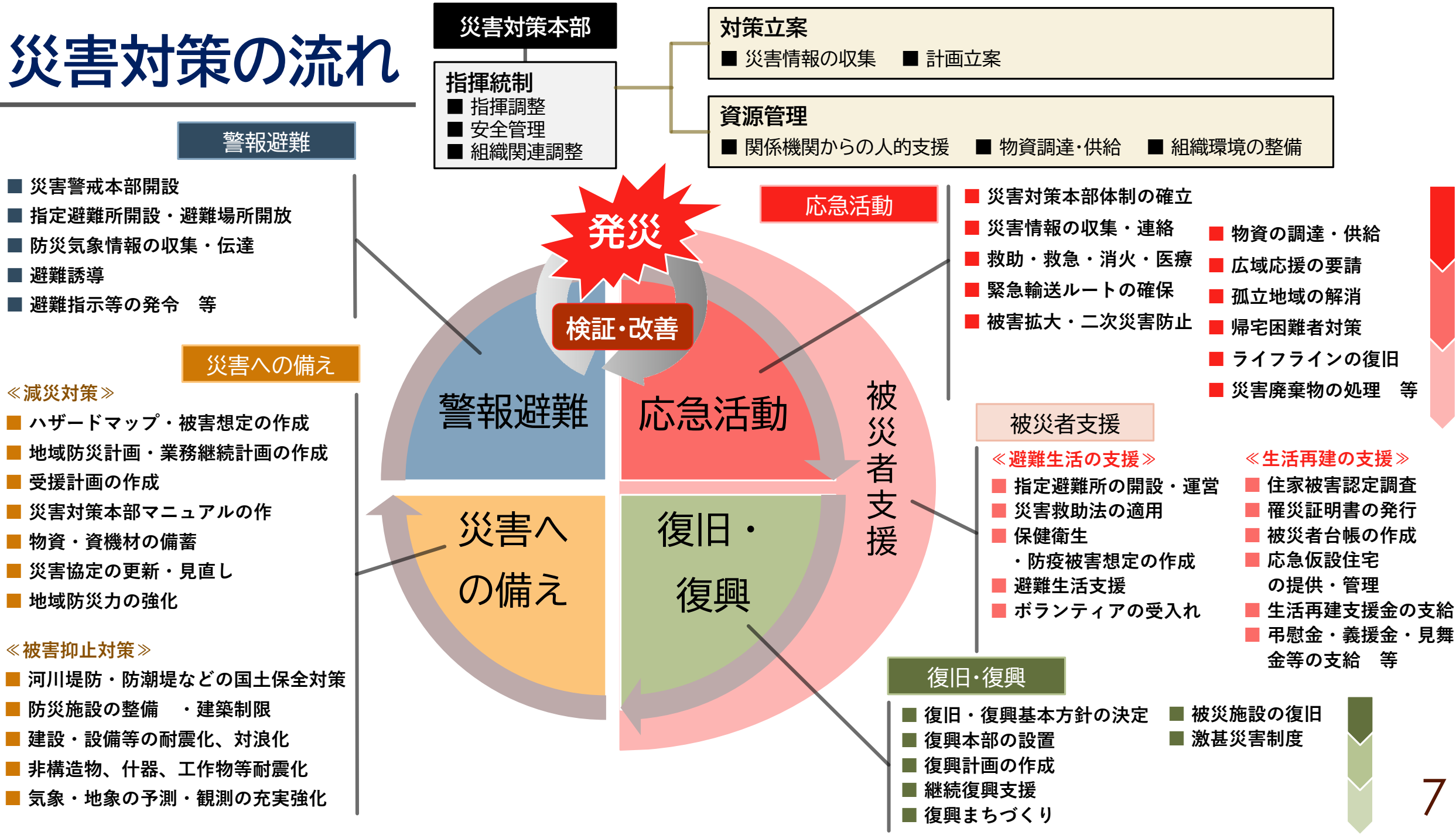
香南市地域防災計画の基本理念

市民・地域・行政の総力を結集した
「災害対応力の強化」と「被害最小化に向けた実践」

誰も取り残さない 生きることをあきらめさせない

業務を継続させることが、市民の命を守り、繋げる

災害対策の流れ



災害への備え : 香南市の防災・減災対策

防災行政無線

津波避難タワー

避難道

耐震補強

家具の固定

老朽家屋の取り壊し

「公助」の対策は、
活用されなければ意味がない！

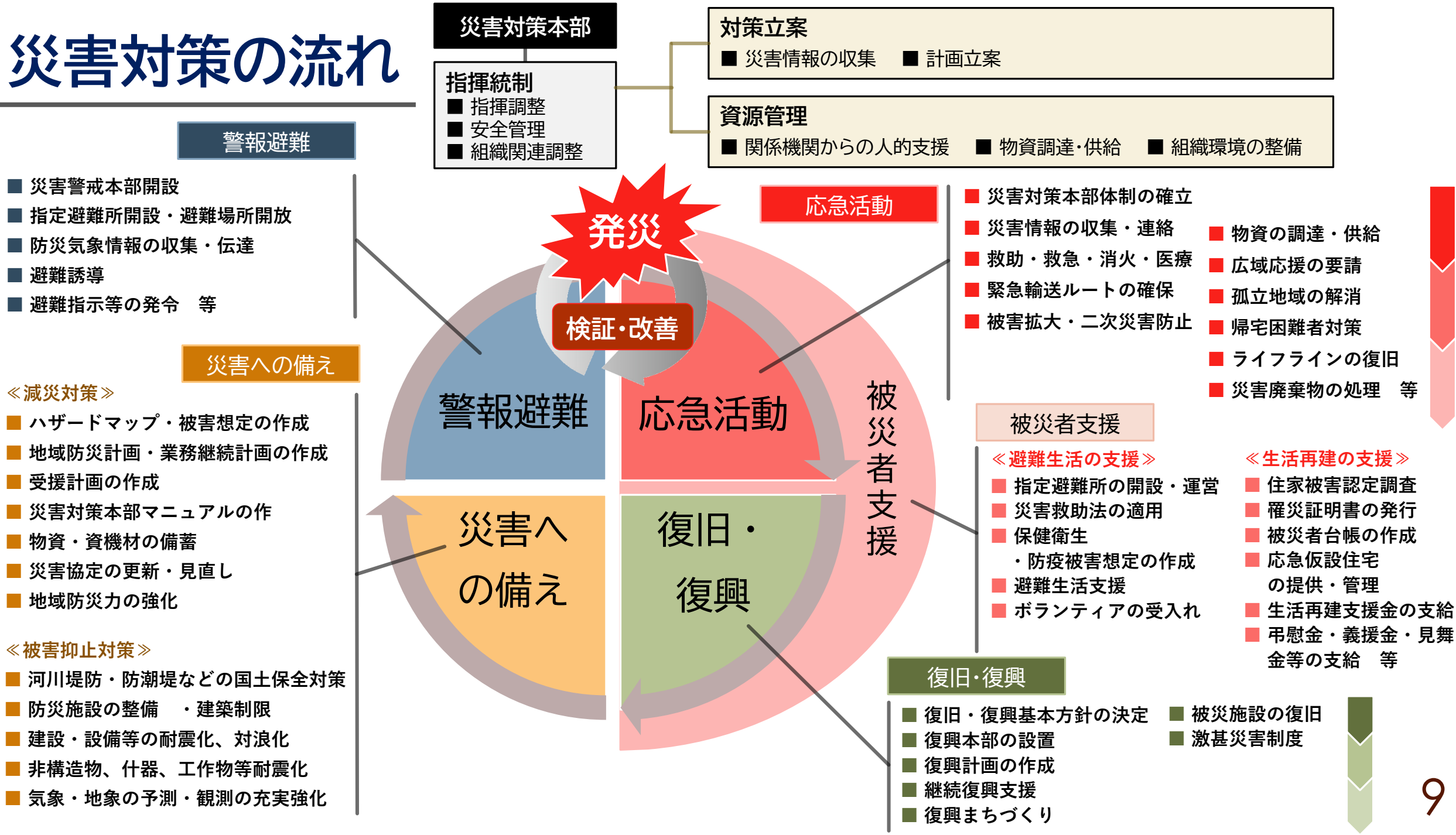


自主

防災・減災対策の両輪をバランス良く回しながら、
「自助・共助」を中心にした対策とそれらの対策を支える
「公助」の役割を明らかにしていくことが重要である。



災害対策の流れ

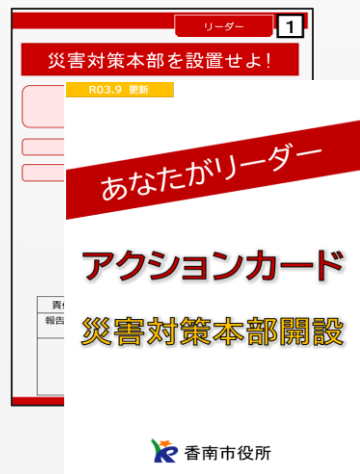


応急活動

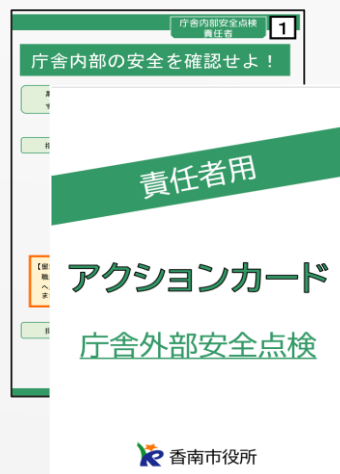
：アクションカードを活用した災害対策本部の設置

アクションカードとは

- 参集できた職員で早期に災害対策本部を開設し、災害時優先業務を実行するために、**具体的な指示命令と行動をカードにしたもの**。
- 勤務時間内・外にかかわらず、災害対策本部を設置するまでは、**アクションカード**に基づき行動する。



赤のカード
[リーダー用]

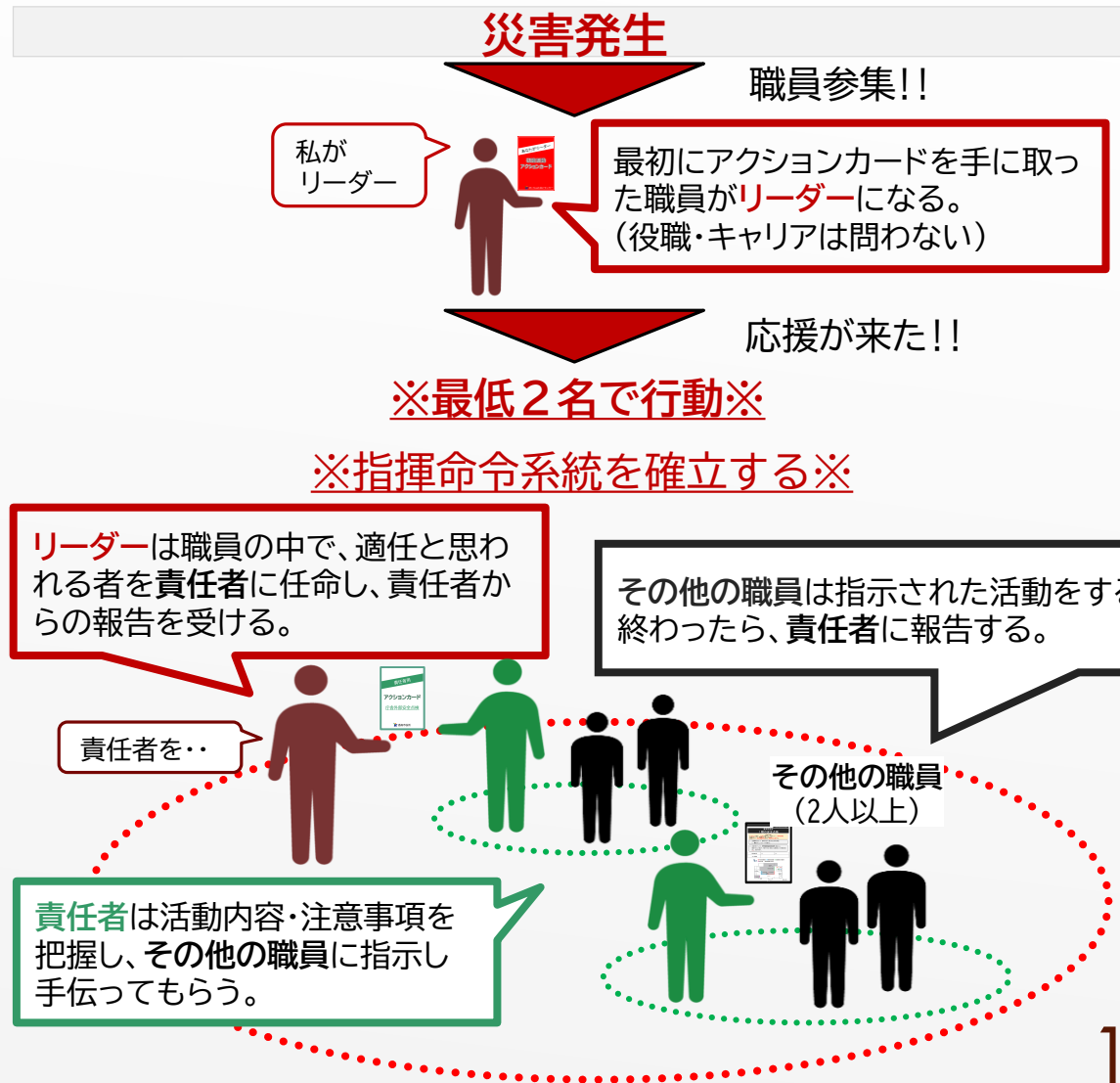


緑のカード
[責任者用]



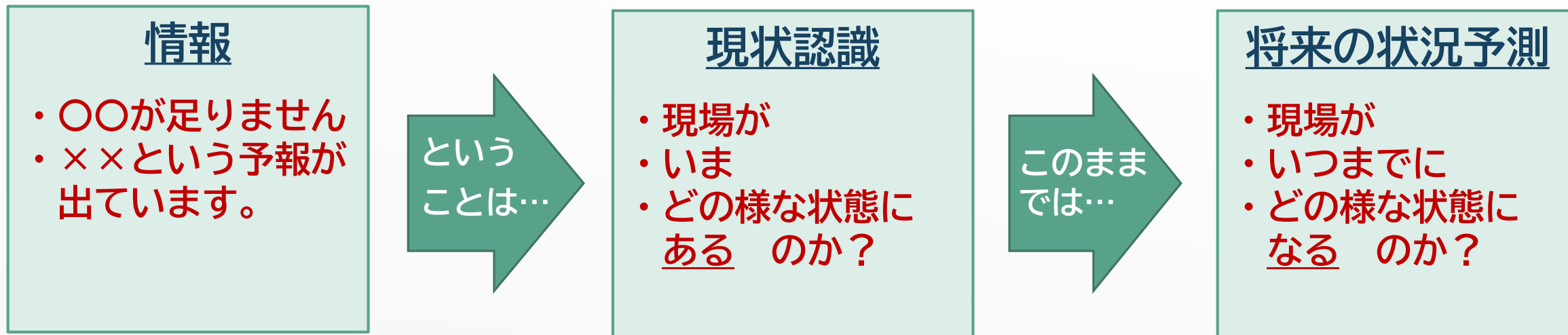
黒のカード
[その他の職員用]

アクションカードの使用方法

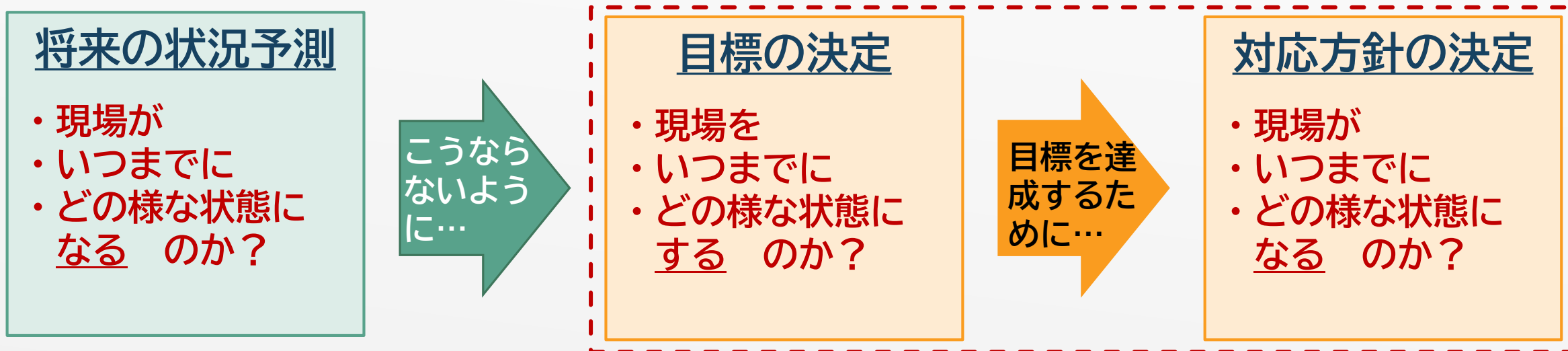


応急活動 : 目標管理型災害対応

① 関係者全体で共通の状況認識 : COP (Common Operational Picture)



② 目標を明確にした災害対応計画 : IAP (Incident Action Plan)



応急活動：災害対応の例

状況予測

避難所の衛生環境が悪化する

目標

全住民が健康を崩すこと無いように、3日以内に衛生環境を整える

対応方針

- ① 仮設トイレをすべての避難所に設置する
- ② 医者と保健師による避難所の巡回を実施する
- ③ 避難所に出入りする人々にマスクの着用や消毒を呼びかける
- ④ 在宅避難者の生活環境を巡回調査する

- ×：仮設トイレ・消毒液を24時間以内に確保します
- ×：健康相談の班体制や経路を24時間以内に決定します

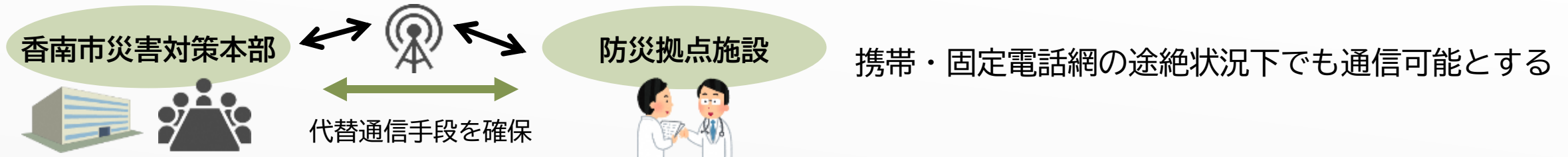


担当部局や現場が考えるべきこと

応急活動：目標管理型災害対応に求められる機能

① 災害情報の収集：情報の統合（現状認識）

災害時でも、防災拠点施設間で**確実につながる通信手段**



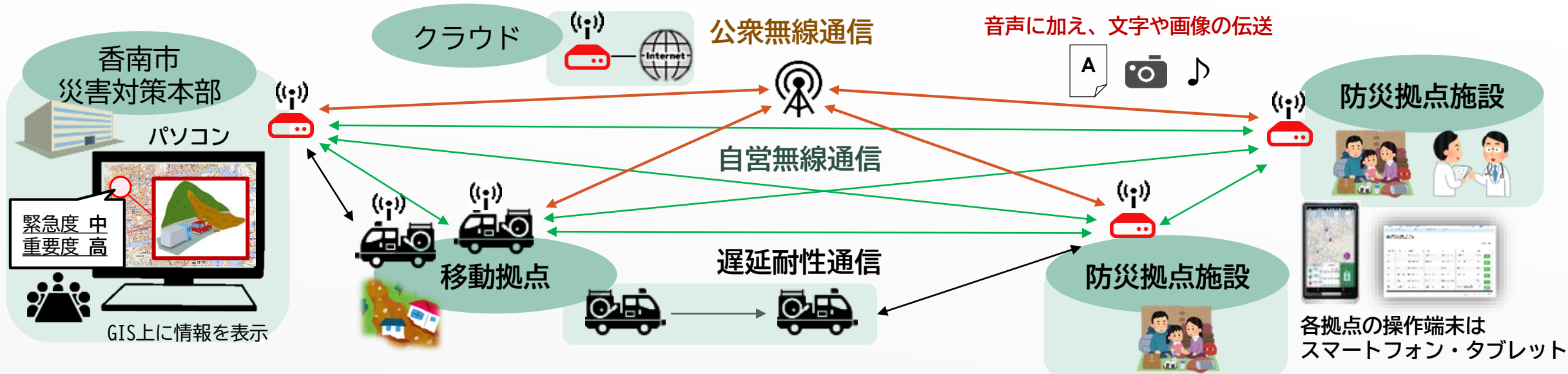
誤聞・誤伝を誘発する音声による情報伝達だけでなく、**文字や画像（データ主体）による情報伝達**



② 災害情報の分析：将来の状況予測・対策目標の決定・対応方針の決定

目標管理型災害対応を実現するために、**収集した情報の一元的な集約・管理・分析を行えるシステム**





◆ 複数の通信手段と経路の確保



三種の通信手段を組み合わせ、いかなる状況でも通信できない地域と期間を最小限に防ぐ

◆ 各拠点の自律運用



外部の通信状況に依存せず、安定して、拠点内でシステム操作が可能

◆ 災害に強いデータ通信



同期（回線確保）が不要な通信とし、遅延してでも確実な情報伝達が可能

◆ 管理データの自動複製



管理データを全ての拠点で保持することで、システム全体として情報欠損を防ぐ

◆ 汎用端末の利用



スマートフォン、タブレット、パソコンなど一般端末をシステム操作端末として利用可能

◆ 他システムとの相互接続

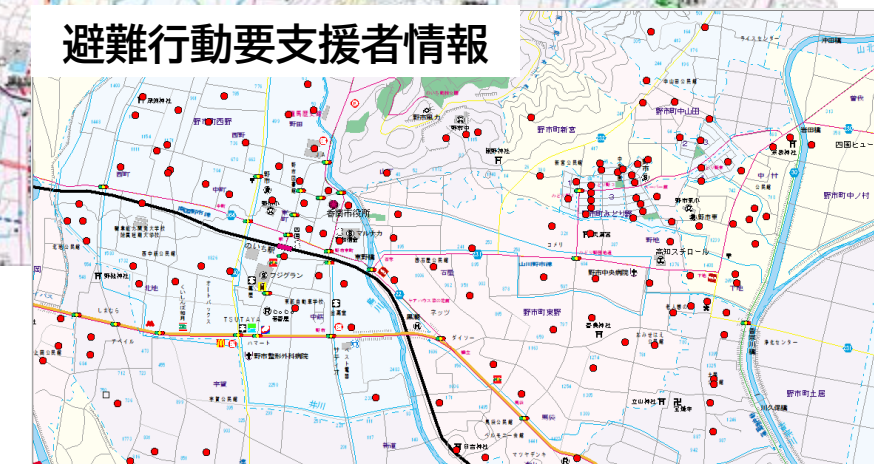


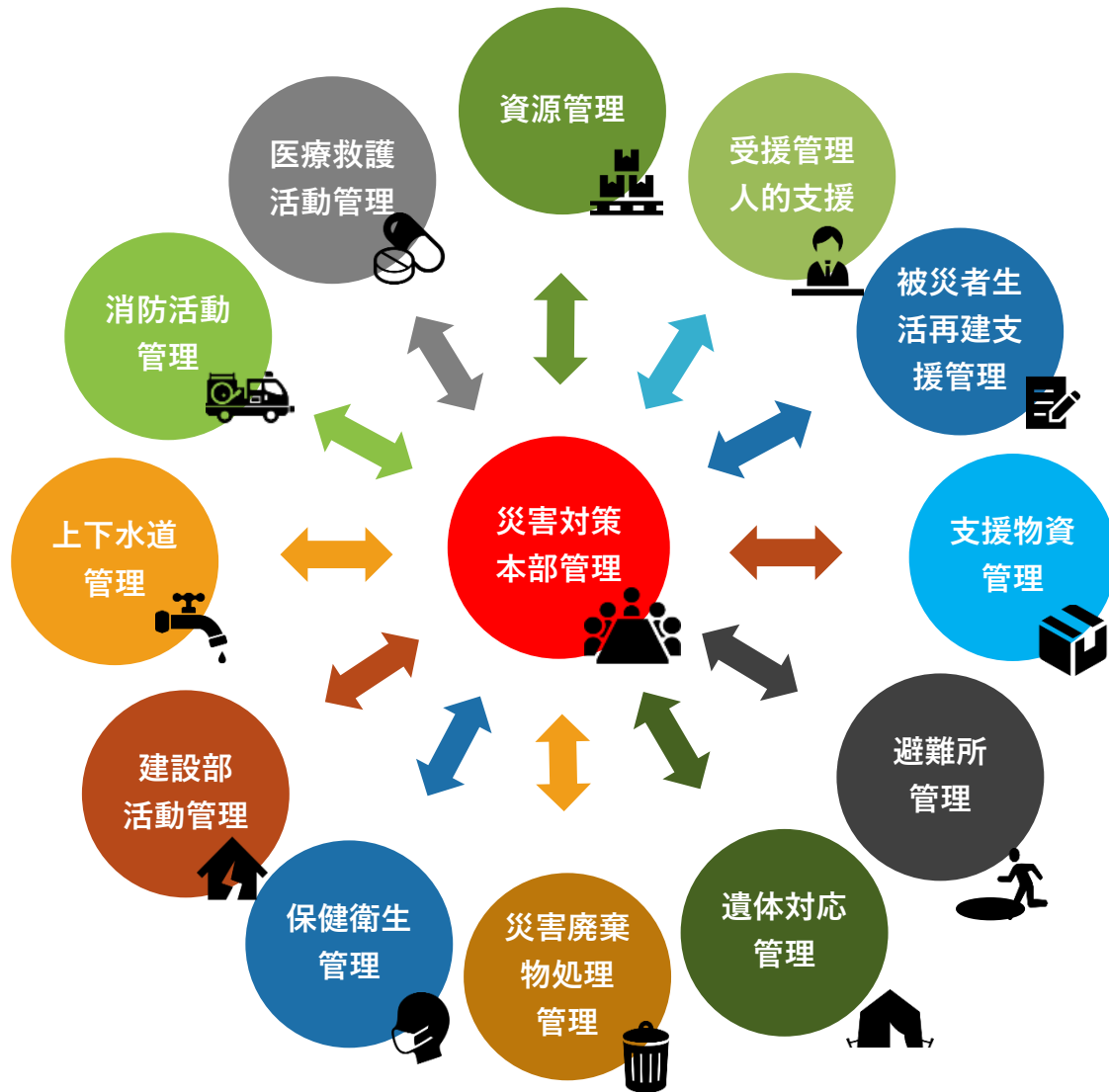
広く用いられるインターネットプロトコル(IP)に準拠し、ベンダロックなし

状況認識の統一: COP (Common Operational Picture)



地図上に様々な組織が持つ情報を重ね合わせることで、今までにない付加価値が生まれる





災害時に必要となる管理支援アプリケーション

- 災害対策本部管理：災害対応全般の運営機能
- 資源管理：ロジスティック管理機能
- 受援管理：人的支援の管理機能
- 被災者生活再建支援管理：生活再建に必要な手続き管理機能
- 支援物資管理支援：物的支援の管理機能
- 避難所管理：避難所のアセスメントなど運営管理機能
- 遺体対応管理：遺体検案・検死・安置所・埋火葬の管理機能
- 災害廃棄物処理管理：災害廃棄物一次・二次仮置場管理機能
- 保健衛生管理：避難所・災害廃棄物処理仮置場・遺体安置所などの環境衛生活動管理機能
- 消防活動：緊急消防援助隊等の動態管理機能
- 建設部活動：現地調査・応急危険度判定・道路啓開などの管理機能
- 上下水道活動管理：応急給水活動・上下水道復旧管理機能
- 医療救護活動管理：救護病院・病院前医療救護所の運営管理機能



ご清聴ありがとうございました。